

愛知県

定数：15名

立候補者数：18名

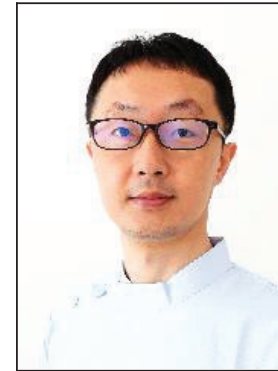


氏名 稲垣 圭亮

都道府県士会 愛知県

年齢 35

勤務先名称 藤田医科大学地域包括ケア中核センター



氏名 野々垣 聡

都道府県士会 愛知県

年齢 45

勤務先名称 愛知県青い鳥医療療育センター

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

2019～2021年 愛知県理学療法士会 名古屋南ブロック委員
2021年～現在 愛知県理学療法士会 医療保険業務部 部員
2021年～現在 愛知県理学療法士会 尾張東部地区支部 部員
2023年～現在 愛知県理学療法士会 介護予防事業部 部員

【立候補の趣旨】

私が日本理学療法士協会の代議員選挙に立候補したきっかけは、令和2年度に厚生労働省での勤務を経験したことです。そこでは介護報酬改定や各種調査事業、新型コロナウイルス感染症対策等に係る業務を担当し、さまざまな職能団体と関わらせていただきました。この経験の中で、各専門職の処遇や立場を確立する、守るためには職能団体の組織力、組織運営が大変重要であることを身に染みて感じました。また、自分自身も行動しなければならぬと強く思い、それまで協会、士会活動に積極的とはいえなかった私ですが、帰任後は県士会活動や協会が進める認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関の運営などに取り組んで参りました。そしてこの度、国（中央省庁）の立場から職能団体をみてきた経験や、理学療法士の未来に関わる組織運営の意思決定に活かしたいと思い、今回の代議員選挙への立候補を決意しました。

昨今は日本理学療法士協会の組織率の低下が進んでおり、おそらくこの流れは今後も進んでいくことが想定されます。これに対し、会員の声を協会に届け、協会が会員を理解することは当然ですが、協会がどんな役割を担っているのか、どんなことに取り組んでいるのかを会員が理解することも組織力向上のために重要だと考えております。この協会と会員（特に同世代や私よりも若い方々）の相互理解を深められるよう精一杯活動して参る所存でございます。

皆様のご支援何卒よろしくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【立候補の趣旨】

2022年6月15日に施行された「こども基本法」は、子ども一人ひとりが独立した権利主体であるとの認識のもと、国が医療、保健、福祉、教育、療育などの分野で関係機関間の適切かつ円滑な連携を図ることを義務づけています。また、都道府県や市町村に対しても、関連する機関や地域の民間団体との有機的な連携を促しています。愛知県の状況をみると、個人のレベルでは、学校保健や特別支援教育分野と連携する会員も増加しているものの、依然として個々の努力が大きな割合を占めており、時間的、財政的な負担は重大な課題です。こうした状況から、県士会レベルでの組織的支援の重要性が浮き彫りになっています。

日本理学療法士協会においては、過去に学校保健や特別支援教育の会議を開催するなどの積極的な取り組みがありましたが、最近では顕著な動きが見受けられません。協会が小児に関する施策を適切に推進していくためにも、代議員としての行動が求められています。

小児理学療法士としての20年にわたる臨床経験、脳性麻痺ガイドラインの策定への貢献、愛知県理学療法士会理事、日本小児理学療法学会評議員としての経験を活かし、小児施策のさらなる発展への寄与を続けたいと願っております。これらの経験を土台として、日本理学療法士協会の代議員として立候補することを決意いたしました。

【協会・士会・学会連合活動歴】

2018年1月～2021年10月 (公社)日本理学療法士協会 ガイドライン・用語策定委員会 小児システムティックレビュー班班長
2018年4月～現在 (公社)日本理学療法士協会 代議員
2021年6月～現在 (公社)愛知県理学療法士会 理事
2021年9月～現在 (一社)日本小児理学療法学会 評議員



氏名 三宅 わか子

都道府県士会 愛知県

年齢 58

勤務先名称 星城大学リハビリテーション学院



氏名 青木 一樹

都道府県士会 愛知県

年齢 38

勤務先名称 (株)g e n e

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・県士会職歴】

平成25年～26年度 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 理事
平成27年～30年度 (公社)愛知県理学療法士会 理事
令和元年度 第8回日本理学療法教育学会学術大会大会長
令和3年～現在 (一社)日本理学療法教育学会 副理事長
令和元年～4年度 (公社)愛知県理学療法士会 副代表理事
令和5年度～現在 (公社)愛知県理学療法士会 代表理事

【立候補の趣旨】

都道府県理学療法士会は日本理学療法士協会と時に連携し、職能面では理学療法士の質の向上と洗練された医療専門職としての技量が提供できる組織の構築を進め、学術面では法人学会・研究会の事業も拝聴ししながら、理学療法士の学術研究の推進を図っています。近年の社会情勢では国民のニーズは地域性に富み、子どもから高齢者まで対象年齢は広く、疾病予防、介護予防、健康増進など多岐にわたっています。これらのニーズに対応した理学療法士の活躍と成果を明確に国民の皆さまに提示することが求められています。各士会がイニシアティブを取り、協会の協同、学会・研究会の助言を仰ぎながら、地域に根づいた持続可能な組織作りを舵取りすることが必要であり、理学療法士ひとり一人が組織を支える人財となります。私の理学療法士人生の後半は、教育・臨床に加え、各団体の組織運営にも携わって参りましたが、今、自身に課せられた役割はこれらの活動を次世代に継承していくことです。Withの精神～と共に～をマインドとして、代議員として所属県士会会員の声を協会に繋ぎ、全国の代議員と協同しながら、愛知県理学療法士会の組織作りに進進するため、愛知県代議員に立候補いたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

この度、公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員に立候補いたしました、青木一樹と申します。

理学療法士が今後ますます社会で活躍する仕事になるために、理学療法士をとりまく環境と日本理学療法士協会の意向を注視し続けながら本会の発展に総会を通じて微力ながら寄与することが出来ればと存じ、立候補をさせていただきました。

代議員としての活動としては、総会前の事前質問提出や総会時の口頭質問を積極的に行っております。時には厳しいことを提出・発言することもあります。公の場で中央にしっかりと意見を届けることが今後の協会運営に対して非常に重要なことであると考え活動させていただいております。

浅学な故、多くのご指導を必要とするかもしれませんが、皆さまと一緒にリハビリテーション・理学療法士・理学療法の未来を考えていきたいと強く思っております。今後も、行動することで皆さまのお役に立てれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

- 2012～ 一般社団法人 愛知県理学療法士会 愛知県理学療法白書委員会
- 2013～ NPO法人 愛知県理学療法学会 生涯学習部員
- 2016～ (公) 愛知県理学療法士会 地域包括ケア推進委員
- 2017～ (公) 愛知県理学療法士会 情報センター部員、総務部
- 2018～ (公) 日本理学療法士協会 代議員 (継続)
- 2019～ (公) 愛知県理学療法士会 理事 (継続)、地域包括ケアシステム推進委員長 (2022まで)
- 2021～ (公) 愛知県理学療法士会支部局副局長
- 2023～ (公) 愛知県理学療法士会支部局局長、学習局副局長、リハビリテーション情報センター副局長、(公)日本理学療法士協会 管理者研修制度検討委員



氏名 後藤 靖昇

都道府県士会 愛知県

年齢 29

勤務先名称 三好ヶ丘整形外科



氏名 本村 聖也

都道府県士会 愛知県

年齢 31

勤務先名称 中部労災病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

私、回復期から生活期にわたるリハビリテーション分野で尽力してきた経験を生かし、理学療法士協会の代議員としての立候補を決意しました。アナトミートレイン・筋膜リリース・関節モビライゼーションの徒手技術、ヨガインストラクター、全米スポーツ医学協会トレーナー、コーチ・カウンセリング1級の資格を活用し、日々、患者さんが即時効果を体験しモチベーション高くリハビリにとり組めるように施術し、日常生活をより良く送れるよう支援すること、そして理学療法士としての専門性を高め、業界の発展に貢献することを目標にWEBサイトを運営し、自費治療院を行なっています。

私の目標は、理学療法士全般の専門性を高めるために、最新の科学的知見と革新的な治療法の積極的な導入を目指します。

これらの目標を実現するためには、皆様のご支持が不可欠です。理学療法士協会の代議員として、私は皆様の声を代弁し、私たちの職業をより良いものにするために全力を尽くします。皆様の貴重な一票を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

後藤靖昇

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

この度、代議員選挙に立候補いたしました中部労災病院の本村聖也と申します。近年、日本理学療法士協会の制度・システムの変更に伴い、様々なところで賛否の意見が聞かれました。現場の理学療法士が感じている意見を協会のシステムに反映させるには、協会組織に訴えかけていく必要があります。しかし、個人の意見のみでは制度・システムを変えていくことは難しいです。特に、これからの協会を担っていく20歳代から40歳代の若手・中堅層の意見は自分たちの未来を創り上げていくなかでとても重要だと感じております。色々な方と交流を深めるなかで自分たちの未来は自分たちで創り上げたいと強く感じます。しかしながら、前回の代議員選挙では20歳代・30歳代の代議員は数少ないのが現状でした。これも若手・中堅理学療法士を中心とした協会活動へのメリットや興味が希薄化している影響も感じております。前回の選挙の結果を踏まえ、今回立候補を決意致しました。同世代の若手・中堅の理学療法士や現場で働く理学療法士の意見に耳を傾け、日本理学療法士協会の意義を高めていけるように愛知県の代議員として日本理学療法士協会の総会に出席し現場の意見が反映されていくように発言していきたいと考えております。

新参者で大変恐縮でございますが、より良い日本理学療法士協会の発展に寄与していただくように精進して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

【日本理学療法士協会 活動】

2019年～2021年 理学療法ガイドライン・用語策定委員会
脊髄損傷システムティックレビュー班 班員

【愛知県理学療法士会 活動歴】

2017年～2019年 愛知県理学療法士協会 社会局

【愛知県理学療法士会 ボランティア活動】

風船バレーボール大会（名古屋）、日本障害者バドミントン選手権大会（名古屋）、ウェルフェア（名古屋）、介護予防推進キャンペーン（長久手）など



氏名 木村 圭佑

都道府県士会 愛知県

年齢 42

勤務先名称 豊田地域医療センター



氏名 福田 章真

都道府県士会 愛知県

年齢 31

勤務先名称 名古屋大学医学部附属病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【立候補の趣旨】

私は高齢者雇用安定法の改正に合わせた、「理学療法士として70歳まで働く」ことができるための仕組みづくりについて、代議員として(公社)日本理学療法士協会と共に考えていきます。

医療機関に勤める多くの理学療法士の業務は、病院経営の原資となる診療報酬の出来高払い方式に紐づけされているため、日/週毎に上限単位数を取得しなければなりません。皆さんは70歳まで、そのような働き方の継続は可能でしょうか。少なくとも私は難しいと考えています。

解決策の1つに、私が参画している(公社)日本理学療法士協会 職能推進課 産業領域業務推進部会で検討している「高齢労働者の就労支援」や「健康増進」、そして日本産業理学療法研究会の専門領域である「産業保健/産業衛生/労働衛生」分野に対して、理学療法士が活躍できる場の拡大が挙げられます。ただし、現状では「介護予防」「健康増進・参加」「予防理学療法」の認定/専門理学療法士はあるものの、「高齢労働者の就労支援」や「産業保健/産業衛生/労働衛生」分野の専門/認定理学療法士制度は確立されておらず、養成校や初学者の理学療法士向けの教科書もありません。

そのような状況を打開すべく、代議員となり「理学療法士として70歳まで働く」ことができる仕組みの一つでも実現できるよう取り組んでいく所存です。ご支援の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【協会・士会役員歴】

2015年度～2021年度 (一社)三重県理学療法士会 学術局研修部 部長(理事)
2017年度～2018年度 (公社)日本理学療法士協会 回復期WG委員
2019年度～ (公社)日本理学療法士協会 産業領域業務推進部会 部会員
2022年度～ 日本産業理学療法研究会 理事
2022年度～ (特非)愛知県理学療法学会 事業局 渉外連携部 部員

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

2021年～ 公益社団法人 愛知県理学療法士会 国際活動等推進検討委員会 委員

【立候補の趣旨】

大学院にてがん患者に関する研究を行い、勤務する大学病院にて主にがん患者に対するリハビリテーションに従事しています。がん治療の進歩によりがんサバイバーとして生きていく患者が多くなっており、その中でQOLを維持・向上することができる手段の一つとして理学療法が重要であると考えています。

また、愛知県理学療法士会より発足された国際活動等推進検討委員会にて、理学療法士の国際活動を推進できるよう研修会の企画や臨床で活用できる英会話動画の発信などに尽力しています。今後、2025年には東京でWorld Physiotherapy Congress、そして2026年には愛知でアジア競技大会が開催されることから理学療法士の学術を含めた国際活動への参加はより重要視されていきます。代議員になった折には、これらのような重要性がある理学療法士のアイデンティティの底上げにつなげていきたいと考えています。

日本理学療法士協会の方針と愛知県理学療法士会の方針を踏まえながら、特に同世代・若い世代の現場の意見を集約し発信、そして必要な方策を提案・実践できる存在となるよう精進していきたくと思っています。よろしくお願ひいたします。



氏名 池野 倫弘

都道府県士会 愛知県

年齢 45

勤務先名称 有限会社R K てっく訪問看護ステーション



氏名 平野 明日香

都道府県士会 愛知県

年齢 41

勤務先名称 藤田医科大学病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【公益社団法人日本理学療法士協会】

2019年度～現在 愛知県代議員

【NPO法人愛知県理学療法学会】

2011年度～2020年度 事務局総務部長

【公益社団法人愛知県理学療法士会】

2011年度～2020年度 事務局総務部長

2014年度 地域包括ケアシステム推進委員会 委員長

2015年度～現在 地域包括ケアシステム推進委員会 委員

2021年度～2022年度 理事・社会局長

2023年度～現在 副代表理事

【立候補趣旨】

愛知県士会・愛知県学会では2011年より事務局総務部長を拝命し多くの活動に参加させていただきました。2021年度からは愛知県士会の理事・社会局長として、コロナ禍という厳しい状況の中で理学療法・理学療法士の啓蒙を進めて参りました。また、2023年度からは副代表理事として会内運営は基より、他団体との折衝にも携わらせていただいております。

会員管理、各事業運営、学会運営など愛知県士会が抱える諸問題は各都道府県でも共通するものも多く、全国組織へ地域の現状を継続して提言していく必要があります。日本理学療法士協会は2021年度より齊藤秀之会長の新体制となりました。他都道府県とも連携を図りながら、当県の会員の皆さま、全国の理学療法士が発展できる協会組織となるよう訴えていく所存です。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

2017年～2018年：日本理学療法士協会 職能関連業務執行委員会
(急性期における理学療法士活指針モデル事業) 協力委員

2017年～2021年：日本理学療法士学会

ガイドライン・用語策定委員会 作成グループ(脳卒中) 班員

2019年：日本理学療法士協会 臨床実習指導者(中央) 講習会世話人

2020年～2022年：日本理学療法士協会 令和4年度診療報酬検討会 構成員

2021年～現在：愛知県理学療法学会 渉外連携部 部長

2021年～現在：愛知県理学療法士会 医療保険業務部 部長

2021年～現在：日本神経理学療法学会 理事 など

【立候補の趣旨】

私はこれまで、協会の活動として急性期の職域拡大や臨床教育等の職能活動に関わり、また日本神経理学療法学会理事として学術活動から理学療法の発展を目指してきました。職能と学術の両活動から、一部の人がだけ理解して行動していても、全ての国民の健康に寄与することは難しいと感じてきました。必要なことは協会の掲げる理念に賛同し活動する理学療法士の育成であると考えております。その課題解決のためにも自分自身が協会の代議員になることで、協会の活動や方向性を正しく理解し、また愛知県内の会員皆様から解決すべき課題を協会に届けつつ、多くの理学療法士が賛同できる協会活動が展開できるよう行動できればと思います。立候補致しました。

日本理学療法士協会が高い組織率を維持し、全国の理学療法士で意見交換しながらより良い組織になることを願っております。大学病院で培ってきた臨床・研究・教育・管理の経験を活かして、協会や会員、そして理学療法を受ける対象者に貢献したいと考えております。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。



氏名 長谷川 隆史

都道府県士会 愛知県

年齢 46

勤務先名称 名古屋女子大学



氏名 阿部 信美

都道府県士会 愛知県

年齢 56

勤務先名称 滋慶学園 名古屋医健スポーツ専門学校

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

令和2年4月～現在 日本理学療法士協会 代議員
令和3年7月～令和4年6月 日本神経理学療法学会 理事
令和3年4月～現在 愛知県理学療法学会 研究事業部長
令和4年10月 第38回東海北陸理学療法学会大会 運営局長
平成29年～令和3年 理学療法診療ガイドライン第2版（脊髄損傷） SR班 班長

【立候補の趣旨】

この度、代議員に立候補することを決意しました名古屋女子大学の長谷川隆史と申します。私の目標は、理学療法および理学療法士の社会的認知を高め、その魅力と可能性を広く伝え、啓発することにあります。この目標を達成するためには、理学療法の「技術」と「科学」を融合させることが不可欠です。愛知県士会は約7,000名の会員を擁し、この活動を推進する理想的な基盤を有しています。現代社会では、理学療法の活動範囲が拡大するにつれ、科学的根拠に基づく理学療法の確立への要求が高まっています。専門分野の学術的進展に応じ、現在では15の分科学会が一般社団法人として認められ、5つの部門が研究会として発展しています。

私は、日本神経理学療法学会の理事を務め、現在は愛知県理学療法学会の研究事業部長として、愛知県における理学療法の「技術」と「科学」の融合を念頭に置いた公募研究事業や研究者データベースの構築に尽力しています。また、理学療法診療ガイドライン第2版のSR班長や第38回東海北陸理学療法学会大会の運営局長も務めました。

今回は、少子高齢社会を迎えるにあたり、「技術」と「科学」の融合に基づく新たな理学療法の創出が求められている重要な時期です。これまでの経験と知識を生かし、社会に認められる理学療法・理学療法士を目指し、この課題に真正面から取り組む所存です。ご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成10年～平成13年 愛知県理学療法士会生涯学習部部員
平成14年～平成19年 日本理学療法士協会生涯学習部部員
平成17年 第40回日本理学療法士協会全国研修会運営局部長

このたび、日本理学療法士協会代議員選挙に立候補いたしました名古屋医健スポーツ専門学校の阿部信美と申します。以前の選挙戦では落選という結果でしたが、これから先の業界全体、特に若い世代の理学療法士が今後も胸を張って安心して働けるよう支援したいと考え、再度立候補いたしました。

理学療法士・作業療法士法の制定から60年を目前とし、人生に例えれば一つの節目になる年代であり、協会も今後を見据え変わりゆく時期だと感じます。振りかえれば、理学療法士という職種すら広く認知されていなかった時代から、昭和そして平成へと理学療法の目覚ましい発展を遂げてきました。協会、士会とも職域の確立へと集約されてきたと感じます。その後、令和となり理学療法士の需要と供給にも変化の兆しが見え始めます。臨床実習そのものが大きな変革をなし、それにより卒業教育の重要性、整備が課題になってきております。さらに新型コロナウィルス対応の契機からITを駆使した社会変化は我々医療・教育現場でも他なりません。今後はこうした背景を持つ若い理学療法士が業界を担っていく事は、そう遠くはないはずです。

私たちは「理学療法」を丁寧に継承していくべきです。時代に即した柔軟な考え方や環境整備を取り入れつつ、次の世代へと組織力を強固にすべく責任があります。新たな展望の中で協会と士会が同じ方向性を持ち発展するために微力ながら尽力させていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。



氏名 加藤 芳司

都道府県士会 愛知県

年齢 60

勤務先名称 名古屋女子大学



氏名 岸川 典明

都道府県士会 愛知県

年齢 60

勤務先名称 愛知医科大学病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

令和3年よりNPO法人愛知県理学療法学会での理事を務めさせて頂き、2期目を迎えております。県士会は主に職能、本学会は学術活動の推進を目的とし日々エビデンス構築のために活動するとともに、表裏一体である愛知県士会の活動にも積極的に取り組んで参りました。

社会人を経て30代で理学療法士の道を目指した立場から、常に理学療法に関する取り組みが外部からどのよう見られているか、井の中の蛙になっていないか等、一般社会人の経験を元に一步離れた立場で客観的に考える事が時にあります。

都道府県での活動に加え、日本産業理学療法研究会の活動にも取り組み11年目を迎えました。職域拡大、予防領域への普及啓発等、我が国の理学療法士の将来に危機感も持ちつつ、次の時代に継承すべき理学療法士の在るべき姿を代議員の立場で創り上げたいと考えております。

これまで、様々な経験を通し、未熟さから己の行動を誤解される等、失敗も多く経験しながらも、必ず手を差し伸べてくれる人がいました。ここまで辿り着けたのは一人の力ではない事を学びました。そして気がつけばキャリアの終盤に差し掛かり始めており、日々臨床で患者さんのために尽力されている会員の皆さんの視点を忘れず、次世代を担う会員、および理学療法を提供し喜んで頂いている国民、地域の皆さんの為に、社会貢献の思いを持って代議員を務めたいと考えています。

約14万人を数える会員の視点に立ち、代議員活動に取り組むとともに、長期的視点で会員が将来、あの時の決断があって今があると感謝頂けるような健全、かつわかりやすい丁寧な説明による協会運営がなされるよう、都道府県からの声を中央に届けたいと思っております。

よろしくお願ひ申し上げます。

協会・連合学会・県士会活動

愛知県理学療法学会 理事 / 学術局教育部 部員 (令和3年迄)
愛知県理学療法士会 名古屋ブロック委員 / 日本産業理学療法研究会 副理事長

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

昭和63年～平成6年度	兵庫県理学療法士会	広報部 部員
平成6年度	愛知県理学療法士会	教育部 部員
平成7年～平成8年度	愛知県理学療法士会	学術資料部長
平成8年度	愛知県理学療法士会	学術局生涯学習担当
平成9年～平成16年度	愛知県理学療法士会	教育部長
平成17年～平成18年度	愛知県理学療法士会	理事 生涯学習部長
平成19年	愛知県理学療法士会	理事 学術局長
平成20年～平成24年度	特定非営利活動法人愛知県理学療法士学会	理事 学術局長
平成25年度～現在に至る	特定非営利活動法人愛知県理学療法士学会	副理事長
平成12年～平成24年度	日本理学療法士協会教育局生涯学習部	部員
平成26年度～現在	日本理学療法士協会	代議員
平成27年度～令和2年度	日本呼吸理学療法学会	運営幹事
令和元年	第6回日本呼吸理学療法学会学術大会	大会長
令和3年度	日本呼吸理学療法学会	監事

理学療法士は社会のニーズに応えるのが資格者としての義務と考えており、会員は自らにその責任を課せなければならない。協会は卒後教育の一環として生涯学習システムを構築し、都道府県士会はその指導下に生涯学習システム(新人教育プログラム)を開始することとなった。私は、このシステム運用当初より、県士会教育部長を務め新人教育プログラムを推進し、2000年からは協会の生涯学習部員として生涯学習システムの普及に努めた。現在は、特定非営利活動法人愛知県理学療法学会(NPO愛知県学会と略)の副理事長として、事務局、学術局、研究局、事業局等の管理者としての理事長の補佐として愛知県理学療法士会会員の資質向上を図るべく本務を務めた。2023年度からはNPO愛知県学会の監事に就任し、学術、研究、教育活動の在り方を再認識。再検討していくうえで本会の進むべき道をさらに考えていく所存である。



氏名 大塚 圭

都道府県士会 愛知県

年齢 51

勤務先名称 藤田医科大学保健衛生学部



氏名 石田 和人

都道府県士会 愛知県

年齢 59

勤務先名称 名古屋女子大学

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

2022年 日本理学療法教育学会 理事
2023年 愛知県理学療法士会 理事、学習局長
愛知県理学療法学会 副理事長

【立候補の趣旨】

この度、日本理学療法士協会代議員に立候補致しました藤田医科大学の大塚圭です。私は、2022年より日本理学療法教育学会の理事、2023年より愛知県理学療法士会の理事、学習局長を拝命し、卒前教育と卒後教育に関わっております。現在、18歳人口の減少に伴い、入学希望者も減少し、卒前教育の運営が難しくなっています。また、この状況は、臨床現場への人材輩出にも大きく影響を及ぼします。今後、理学療法界では、卒前教育においては入学希望者を高いレベルまで引き上げ臨床現場に輩出し、卒後教育でシームレスに育成していくが一層重要となります。しかしながら、一方で指定規則の改正後、臨床実習が大きく改変され、多くの指導者は臨床実習指導者講習会の受講を済まされていますが、いまだ臨床現場では指導に困らている方も多いのではないかと危惧しています。このような教育現場の現状をふまえ、代議員として愛知県の会員の声や情報を協会に発信し、理学療法教育に貢献できればと考え、この度、立候補いたしました。後進の育成は、専門家としての責務であり、専門性の発展の根底になるものです。何卒、宜しくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

◆協会・士会役員歴

2016年6月 日本理学療法士協会代議員（2017年5月まで、2021年6月～現在）
2019年6月 愛知県理学療法学会 理事長（現在に至る）
2021年10月 日本基礎理学療法学会 理事（現在まで）

◆立候補の趣旨

私が代議員選挙に臨む理由は、「理学療法士の質向上を目指すこと」に尽きます。現在、理学療法士数は約20万人といわれ、国民に広く知られる職業となりましたが、医療者として質の低下を懸念する意見も散見されます。このような状況下において、益々必要となる理学療法士協会の役割としては、
（1）活発な学術活動に由来する魅力ある理学療法の創造、すなわち、各分化学会の主体性、協調性の強化、
（2）士会およびブロック協議会の独自性、機能性の強化、
（3）理学療法士卒前・卒後教育体制の充実化、
この3つを柱とすることが、我が国の理学療法士の未来を支える原動力になると確信しています。そして私自身は、愛知県理学療法学会の理事長として、また日本基礎理学療法学会の理事として、更には教育現場に従事する理学療法士として、現場の実態に基づく会員の意見や感性を大事にしながら、日本理学療法士協会の代議員として発言、働きかけができるよう、微力ながら努力を重ねたいと考え、立候補させて頂きました。よろしくお願い申し上げます。



氏名 宮寄 友和

都道府県士会 愛知県

年齢 46

勤務先名称 木村病院



氏名 村上 忠洋

都道府県士会 愛知県

年齢 58

勤務先名称 大同病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2013年～2016年
公益社団法人愛知県理学療法士会 職能局保険部

2015年～2016年
公益社団法人愛知県理学療法士会 名古屋東ブロック委員

2017年～2018年
公益社団法人愛知県理学療法士会 職能局倫理保険業務部長

2019年～2020年
公益社団法人愛知県理学療法士会 理事、男女共同参画等検討委員会委員長

2020年～現在
公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

2021年～2022年
公益社団法人愛知県理学療法士会 理事、職能局副局长

2023年～現在
公益社団法人愛知県理学療法士会 理事、職能局局长、組織事業検討委員会委員長

立候補の趣旨

この度、公益社団法人日本理学療法士協会 代議員に立候補いたしました、宮寄友和と申します。現在、県士会の理事として主に職能に関すること、組織運営に関することを担当しております。今後は県士会として地域の特性や実情に合わせた活動を行っていくことが重要になり、協会との役割分担と連携を強化していく必要があると考えています。協会活動の情報収集を行うとともに、協会に対して県士会活動の情報提供を行うことで、効率的で有効な事業実施に繋げていきたいと考えています。会員の皆様への情報の発信と収集に取り組み、協会と県士会の発展に寄与するために尽力する所存です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【日本理学療法士協会の主な役員歴】

1991～1992年度：調査資料部 部員

2007～2012年度：教育局研修部 部員（2011年度から部長）

2011年度：研修体制統合特別委員会 委員

2013～2017年度：生涯学習業務執行委員会 委員

2013～2023年度：代議員

2017年度：教育制度委員会 委員

2017～2018年度：課題解決型高度医療人材育成検討委員会 委員

【愛知県理学療法士会とNPO法人愛知県理学療法学会の主な役員歴】

1995～2000年度：学術局 教育部 部員

2001～2004年度：学術局 研修部 部長

2005～2007年度：学術局 学会研修部 部長

2007年度：第18回愛知県理学療法学術大会 大会長

2008～2010年度：学術局 学術大会部 副部長

2011～2014年度：学術局 学術大会部 部長

2015～2020年度：理事

【立候補の趣旨】

私は19年間、理学療法士養成校の教員として勤め、1300名ほどの卒業生を社会に送り出してきました。多くの卒業生は臨床実習を経験し、先輩理学療法士の姿を憧れの存在として、意欲に満ちあふれて社会に旅立っていきます。しかしながら最近では、理学療法士をやめて転職したという知らせを聞くことも増えてきました。理学療法の臨床の魅力が忘れられず、残り少ない時間を再び患者さんと関わりたいと思ひ、教員を退職した者としては少し寂しく感じています。理学療法のやりがいを感じ、いきいきと働き続けられる業界を次の世代に残していきたいと思っています。これまでの経験を活かして、その一助になればと考えています。